

第30回



全国済生会糖尿病セミナー

プログラム・抄録集

チームで創る糖尿病診療の

五輪書

～誰一人取り残さない医療を目指して～

日程

2024年8月17日(土)

会場

済生会熊本病院コンベンションホール

世話人

松尾 靖人 済生会熊本病院 糖尿病内科



第30回 全国済生会糖尿病セミナー

プログラム・抄録集

チームで創る糖尿病診療の

五輪書

～誰一人取り残さない医療を目指して～

日程

2024年8月17日(土)

会場

済生会熊本病院コンベンションホール

世話人

松尾 靖人 済生会熊本病院 糖尿病内科

事務局

済生会熊本病院 医療支援部 医療秘書室
〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
TEL: 096-351-8000(代表) 内線: 8795

運営
事務局

株式会社コンベンションサポート九州
〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35 クロススクエア熊本九品寺7F
TEL: 096-373-9188 FAX: 096-373-9191
E-mail: sdms30@higo.co.jp

全国済生会糖尿病セミナー 開催一覧

回	開催日	主な内容	開催地	担当病院・世話人
1	1994年(平成6年) 7月31日	糖尿病 ―最近の考え方― 糖尿病患者教育はなぜ必要か 糖尿病患者管理について	東京都	済生会中央病院 松岡 健平
2	1995年(平成7年) 7月15日	食品交換表の正しい使い方 治療困難例はなぜ出現するか 段階的糖尿病管理(SDM)の応用	東京都	済生会向島病院 北村 信一
3	1996年(平成8年) 7月27日	糖尿病の診断・最新の話 患者教育の成果を高めるコツ 糖尿病合併症の診療のありかた	静岡市	静岡済生会総合病院 石垣 健一
4	1997年(平成9年) 7月12日	患者教育について 医師向けセミナー(治療とQOL) コメディカルからのレポート	松阪市	済生会松阪総合病院 林 弘
5	1998年(平成10年) 7月19日	教育とチーム医療 妊娠と糖尿病核施設の指導体制 コメディカルスタッフ主体のP.ディスカッション	熊本市	済生会熊本病院 野上 哲史
6	1999年(平成11年) 7月17日	糖尿病の二次予防と医療経済 糖尿病診療の標準化 糖尿病療養指導士について	北上市	北上済生会病院 伊藤 隆司
7	2000年(平成12年) 7月15日	いかに教育するか チーム医療の重要性 合併症の予防および治療のため	東京都	済生会栗橋病院 大森 安恵
8	2001年(平成13年) 7月14日	治療症例 患者指導の取り組みと工夫 糖尿病合併症について(眼・足病変) クリティカルパス 療養指導士への期待	松山市	済生会松山病院 田中 昭
9	2002年(平成14年) 7月20日	エビデンス(根拠)に基づいた糖尿病診療 養指導士 妊娠糖尿病 eSDM メイリングリスト クリニカルパス	新潟市	済生会新潟第二病院 安藤 伸朗
10	2003年(平成15年) 7月26日	21世紀の糖尿病診療 ―その現状と将来―	福井市	福井県済生会病院 番度 行弘
11	2004年(平成16年) 7月24日	済生会糖尿病ケアブランドの確立をめざして	東京都	済生会中央病院 渥美 義仁
12	2005年(平成17年) 7月16日	糖尿病合併症の進展防止に向けて ―糖尿病合併症に対するチーム医療―	岡山市	岡山済生会総合病院 中塔 辰明
13	2006年(平成18年) 7月22日	これからの糖尿病診療の新しい戦略 ―糖尿病診療の現状と将来への展望―	福岡市	済生会福岡総合病院 迫 康博
14	2007年(平成19年) 7月21日	糖尿病療養指導ネットワーク ―オリジナル教材の共有を―	今治市	済生会今治第二病院 田丸 正明
15	2008年(平成20年) 7月19日	糖尿病医療連携 ―院内におけるネットワークおよび院外における地域医療連携の推進に向けて―	東京都	済生会向島病院 北村 信一
16	2009年(平成21年) 8月29日	糖尿病ケアの充実 ―済生会ブランドのさらなる確立を目指して―	松山市	済生会松山病院 宮岡 弘明
17	2010年(平成22年) 8月28日	血管からみた糖尿病のチーム医療	横浜市	済生会横浜市東部病院 比嘉 真理子
18	2011年(平成23年) 8月27日	糖尿病医療の多様性にいかに対処すべきか? ―ディベートを通じた更なる相互理解を目指して―	福井市	福井県済生会病院 番度 行弘
19	2012年(平成24年) 8月25日	糖尿病ケアチーム(DCT) 糖尿病患者さんによりそう医療をめざして―	和歌山市	済生会和歌山病院 江川 公浩
20	2013年(平成25年) 8月24日	糖尿病の最近の考え方	熊本市	済生会熊本病院 星乃 明彦
21	2014年(平成26年) 8月23日	新しい時代を迎えた糖尿病治療 ～地域連携とチーム医療～	大阪府	大阪府済生会野江病院 安田 浩一郎
22	2015年(平成27年) 8月22日	済生会が担う糖尿病診療 ―地域包括ケアシステムにおける役割―	福岡市	済生会福岡総合病院 関口 直孝
23	2016年(平成28年) 8月27日	チームで考える糖尿病診療 ～新しい知識、療養支援、ケアチーム、そして地域貢献～	宇都宮市	済生会宇都宮病院 藤田 延也
24	2017年(平成29年) 8月26日	糖尿病診療の基礎を奏でるチームワーク & ネットワーク	東京都	東京都済生会中央病院 河合 俊英
25	2018年(平成30年) 7月28日	糖尿病チーム医療 診療と心療	京都府	済生会京都府病院 中村 直登
26	2019年(令和元年) 8月31日	先進糖尿病治療とデバイスの進化、それを支えるチーム医療	岡山市	岡山済生会総合病院 中塔 辰明
27	2021年(令和3年) 8月21日	エビデンスを意識した糖尿病診療とチーム医療 ～済生会糖尿病ケアブランドの確立を目指して～	福岡県	福岡県済生会飯塚嘉徳病院 迫 康博
28	2022年(令和4年) 8月20日	多職種で挑むニューノーマル時代の糖尿病診療 ～患者さんが健康な人と変わらない人生をめざせるように～	完全 WEB開催	大阪府済生会中津病院 新谷 光世
29	2023年(令和5年) 8月19日	糖尿病治療のさらなる進歩のために ～済生会グループが魅せる地域医療、チーム医療、アドボカシー活動の在り方とは～	福井県	福井県済生会病院 金原 秀雄
30	2024年(令和6年) 8月17日	チームで創る糖尿病診療の五輪書 ～誰一人取り残さない医療を目指して～	熊本県	済生会熊本病院 松尾 靖人

第30回全国済生会糖尿病セミナー 世話人挨拶

第30回全国済生会糖尿病セミナー

世話人 松尾 靖人

済生会熊本病院 糖尿病内科



この度、第30回全国済生会糖尿病セミナーを2024年8月17日(土)に熊本市で開催させていただくことになりました。熊本での開催は前回2013年の第20回から11年ぶりになりますが、再び節目の回を当院で担当させていただくことを誠に光栄に感じております。また、コロナ禍によりここ数年は完全 Web またはハイブリッド形式での開催を余儀なくされていましたが、今回は十分な感染対策を行った上で現地開催を予定しています。久しぶりに多くの皆様と顔を合わせて活発なディスカッションが行えればと思っております。

さて今回のセミナーのテーマは「チームで創る糖尿病診療の五輪書～誰一人取り残さない医療を目指して～」としました。近年、糖尿病診療の発展は目覚ましく、次々と新しい薬剤や血糖モニタリングシステムなどの医療機器が開発され、素晴らしいエビデンスが確立されてきました。一方、SDGs という概念はすでに広く浸透しましたが、“すべての人に健康と福祉を”という目標に対して、現実的には血糖管理目標に到達できず、合併症により“糖尿病のない人と変わらない寿命と QOL”を達成できない場合もしばしば見受けられます。糖尿病診療に携わる医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師など、多くの職種が“ONE TEAM”として知恵を出し合い、剣豪宮本武蔵が熊本で書き遺した兵法書になぞらえて糖尿病診療版の“五輪書”を創造できればと願っています。

本セミナーは岡山済生会総合病院中塔辰明先生による基調講演に始まり、横浜市立大学寺内康夫教授・東北大学弘世貴久教授によるランチョンセミナー2題、熊本大学窪田直人教授による特別講演に加えて、全国の済生会病院から20演題の一般発表、各職種のエキスパートの先生方によるシンポジウムと充実した内容となっております。

皆様と熊本の地でお会い出来ることを楽しみにお待ちしております。

セミナー参加者のみなさまへ

【開催形式】

現地開催

※オンデマンド配信はございません。

【参加登録】

第30回全国済生会糖尿病セミナーのホームページより、事前参加登録フォームにログインのうえ、お手続きください。

<https://sdms30.secand.net/sanka.html>

※参加登録完了メールが届いていない場合は、運営事務局へご連絡ください。

【参加費】

3,000円

【抄録集】

PDF版：参加費のみ

印刷版：+ 2,000円

※PDF版はホームページからダウンロード予定としております。

※印刷版をご希望の方は、事前参加登録の際に2,000円でご購入ください。

ご用意ができ次第、郵送にてお送りいたします。

【単 位】

ご入金を確認でき、単位認定条件を満たした場合のみ、単位の取得が可能となります。

●日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の研修単位について

本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定機構より「認定更新のための研修会(研修コード2-14:上限8単位)」〈第2群〉の2単位を取得できます。

セミナー当日に参加証を発行いたします。受付の際に「認定番号」が必要となります。後日では証明ができません。ご自身の認定番号を忘れずにご持参ください。

●熊本地域糖尿病療養指導士認定更新について

本研修会は熊本地域糖尿病療養指導士(CDE-Kumamoto)より「認定更新のための研修会」として認定されています。詳しくは熊本地域糖尿病療養指導士のHPをご確認ください。

【クロークについて】

傘、貴重品(PC など)のお預かりはできませんので、ご了承ください。

お預けになった荷物は、その日の内にお引き取りいただきますよう、お願いいたします。

場 所：済生会熊本病院 コンベンションホール 4階

時 間：8月17日(土) 8:30～17:15

【世話人会】

8月16日(金) 18:00～18:45

世話人会を現地(ホテル日航熊本)にて開催いたします。

WEBにてご出席される方には、事前(1週間前)に運営事務局よりメールにてログイン用のURLをお送りいたします。

座長の先生へ

1) 受付方法と時間について

- ① ご担当セッション開始30分前までに、来場受付（済生会熊本病院 外来がん治療センター 4F コンベンションホール前）をお済ませください。
- ② 各セッション開始10分前までに、座長は会場右手前方の次座長席へお越しください。
- ③ セッションの進行については座長に一任いたします。遅延等が出ている場合はご協力をお願いします。

2) アナウンスについて

- ① セッションの開始前に開始のアナウンスをいたします。
※前のセッションの遅れなどにより、開始時間を遅らせる必要がある場合は運営事務局からご案内いたします。
- ② セッション終了後に終了のアナウンスをいたします。最後にご発表される方の質疑応答終了後、そのセッション終了のご発言をお願いします。

3) 発表時間について

- ① 一般演題の発表時間は6分、質疑応答は2分、シンポジウムの発表時間は15分、質疑応答は3分となります。時間厳守にてお願いいたします。
- ② 発表時間を厳守してください。
※発表終了1分前に黄色ランプが点灯、発表終了時間になると赤ランプが点灯いたします。

演者の先生へ

1) 発表時間について

- ① 一般演題の発表時間は6分、質疑応答は2分、シンポジウムの発表時間は15分、質疑応答は3分となります。時間厳守にてお願いいたします。
- ② 発表時間を厳守してください。
※発表終了1分前に黄色ランプが点灯、発表終了時間になると赤ランプが点灯いたします。

2) 発表データの作成について

- ① 会場で使用するアプリケーションは、Microsoft Power Point のみとなります。
- ② スライドサイズは16：9、4：3いずれも使用可能ですが、16：9を推奨いたします。
- ③ 大容量の動画やアニメーションの使用は極力お控えください。
- ④ フォントは文字化けを防ぐため下記フォントを推奨いたします。
日本語 … MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英 語 … Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
- ⑤ プレゼンテーションに他のデータ（静止画・グラフ等）をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。
- ⑥ 動作確認のため、作成されたパソコン以外でのチェックを事前に行うようにしてください。

3) 発表データの受付方法と時間について

- ① ご担当セッション開始30分前までに、来場受付（済生会熊本病院 外来がん治療センター 4F コンベンションホール前）をお済ませのうえ、PC 受付にて演題受付及び動作確認をしてください。
※原則として USB メモリーによるデータの持ち込みでの発表に限らせていただきます。
※会場では発表者ツールでの発表はできませんので、必要な方は原稿をお持ちください。

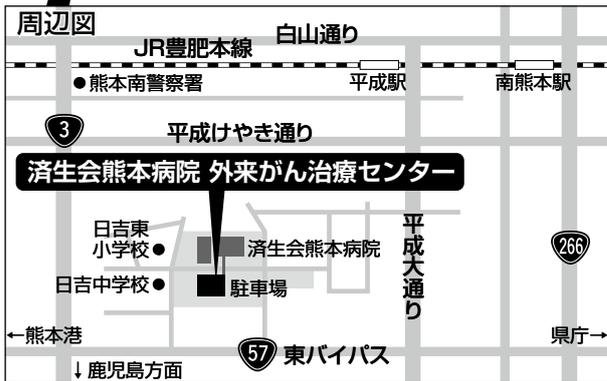
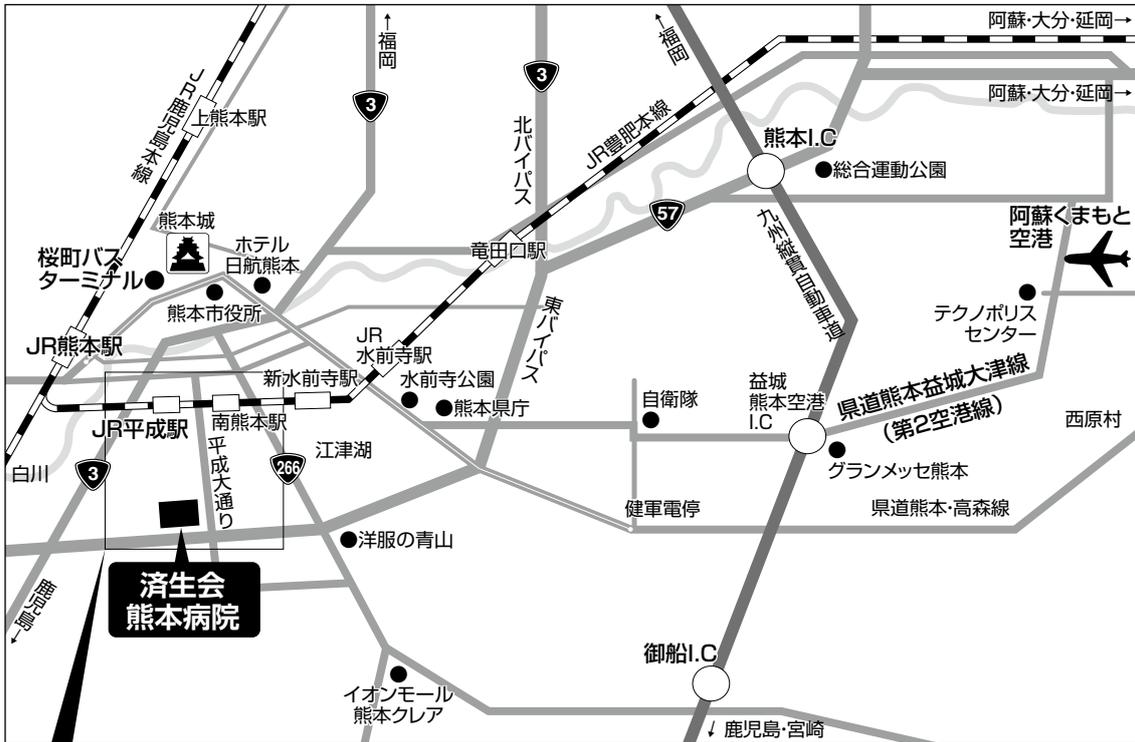
【PC 受付】

場所：済生会熊本病院 外来がん治療センター 4F コンベンションホール前

時間：8月17日（土）8：30～14：20

- ② セッション開始10分前までに、会場左手前方の次演者席へご移動ください。
- ③ 現地では、以下の内容のパソコンにてご自身で操作していただきます。
なお、パソコンの持ち込みやデータの差し替えはできかねます。
※発表用のパソコン：Windows11
アプリケーションソフト：Microsoft PowerPoint2023

交通案内



■ お車でお越しの方

● 福岡方面から

九州自動車道「熊本インターチェンジ」より、国道57号線（東バイパス）を宇土方面へ。流通団地入り口交差点を通過し、次の信号（済生会熊本病院入口）を右折。（熊本インターチェンジから渋滞なしで約40分）

● 宮崎・鹿児島方面から

九州自動車道「御船インターチェンジ」より、国道445号線を熊本市方面へ約8キロ進む（途中で国道266号線と合流）。国道57号線を左折して、約1.5キロのところ流通団地入り口交差点を通過し、次の信号（済生会熊本病院入口）を右折。（御船インターチェンジから渋滞なしで約20分）

● 阿蘇・大分・延岡方面から

国道57号線（東バイパス）を熊本市方面に進み、流通団地入り口交差点を通過し、次の信号（済生会熊本病院入口）を右折。

■ 阿蘇くまもと空港よりお越しの方

● バス利用（桜町バスターミナル経由）

リムジンバス（40分）➡ 桜町バスターミナル
➡ バス（30分）➡ 済生会熊本病院

● タクシー利用

タクシー（40分）➡ 済生会熊本病院

■ JR熊本駅からお越しの方

● バス利用

（5番のりばから）
都市バス（20分）➡ 済生会熊本病院

● タクシー利用

タクシー（15分）➡ 済生会熊本病院

■ JR平成駅からお越しの方

● タクシー利用

タクシー（10分）➡ 済生会熊本病院

■ 桜町バスターミナルよりお越しの方

● バス利用（2・3番のりばから）

バス（30分）➡ 済生会熊本病院

● タクシー利用

タクシー（20分）➡ 済生会熊本病院

無料シャトルバスのご案内

当日は通常の路線バスに加え、ホテル日航熊本 ↔ 済生会熊本病院間（桜町バスターミナル、熊本駅経由）の無料シャトルバスを運行いたします。

各停留所の乗車場所につきましては、ホームページよりご確認ください。

往路 ホテル日航熊本 → 済生会熊本病院

	ホテル日航熊本	桜町 バスターミナル	熊本駅	済生会熊本病院
1号車	7:45 発	途中停車はありません		8:00 着
2号車	8:00 発	8:05 発	8:15 発	8:30 着
1号車	8:30 発	8:35 発	8:45 発	9:00 着

到着時刻は目安です。

復路 済生会熊本病院 → ホテル日航熊本

	済生会熊本病院	熊本駅	桜町 バスターミナル	ホテル日航熊本
1号車	17:00 発	17:15 着	17:25 着	17:30 着
2号車	17:15 発	17:30 着	17:40 着	17:45 着
1号車	17:55 発	18:10 着	18:20 着	18:25 着

到着時刻は目安です。

※ホームページはQRコードを読み取りご覧ください。



会場案内

済生会熊本病院 外来がん治療センター

4F



3F

- 休憩室
- スタッフ控室
- 講師控室

令和6年8月17日(土)

第1会場

第2会場

9:00	9:00~9:05	世話人挨拶	座長：迫 康博(福岡県済生会飯塚嘉穂病院) 演者：松尾 靖人(済生会熊本病院)
	9:05~9:15	院長挨拶	
	9:15~9:30	会長講演	
10:00	9:30~10:10	基調講演 糖尿病治療の進歩とチーム医療 座長：迫 康博(福岡県済生会飯塚嘉穂病院) 演者：中塔 辰明(岡山済生会総合病院) 共催：アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式会社	
	10:20~11:45	一般演題1 (1-1~1-10) 座長：阿部 恵(大阪府済生会野江病院) 河合 俊英(東京都済生会中央病院)	10:20~11:45 一般演題2 (2-1~2-10) 座長：一城 貴政(済生会横浜市東部病院) 金原 秀雄(福井県済生会病院)
12:00	12:00~12:50	ランチョンセミナー1 インクレチン関連薬を再考する ~ GIP/GLP-1 受容体作動薬への期待~ 座長：星乃 明彦(済生会熊本病院) 演者：寺内 康夫(横浜市立大学) 共催：日本イーライリリー株式会社/田辺三菱製薬株式会社	12:00~12:50 ランチョンセミナー2 CGM が切り拓く新しい糖尿病の治療戦略 座長：宮岡 弘明(済生会松山病院) 演者：弘世 貴久(東邦大学) 共催：アボットジャパン合同会社
13:00	13:15~13:25	次期世話人挨拶	
14:00	13:25~14:25	特別講演 2型糖尿病の病態と薬物治療 座長：松尾 靖人(済生会熊本病院) 演者：窪田 直人(熊本大学) 共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	
	14:35~16:35	シンポジウム チームで創る糖尿病診療の五輪書 ~ 誰一人取り残さない医療を目指して~ 座長：関口 直孝(福岡県済生会飯塚嘉穂病院) 新谷 光世(大阪府済生会中津病院) 演者：岩屋 智加予(福岡県済生会大牟田病院) 宮永 幸実(済生会若草病院) 兵頭 千恵(済生会松山病院) 松永 貴子(済生会熊本病院) 青野 達(済生会福岡総合病院)	
	16:35~16:45	閉会挨拶	
17:00			

プログラム

第1会場

9:00～9:05 **世話人挨拶** 松尾 靖人(済生会熊本病院 糖尿病内科)

9:05～9:15 **院長挨拶** 中尾 浩一(済生会熊本病院)

9:15～9:30 **会長講演**

座長：迫 康博(福岡県済生会飯塚嘉穂病院)

松尾 靖人 済生会熊本病院 糖尿病内科

9:30～10:10 **基調講演**

座長：迫 康博(福岡県済生会飯塚嘉穂病院)

糖尿病治療の進歩とチーム医療

中塔 辰明 岡山済生会総合病院 糖尿病センター

共催：アストラゼネカ株式会社／小野薬品工業株式会社

10:20～11:45 **一般演題1**

座長：阿部 恵(大阪府済生会野江病院 糖尿病・内分泌内科)

河合 俊英(東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科)

1-1 糖尿病チームの軌跡とチームアンケートから見える今後の課題

○早川 恵美子¹⁾、青木 有希子²⁾、権城 泉³⁾、岡本 晃光⁴⁾、城田 祐輔⁵⁾、三浦 富美彦⁵⁾、
舩岡 紗也香⁵⁾、木藤 絢子¹⁾、水越 常徳⁶⁾

1) 北海道済生会小樽病院 看護部、2) 済生会小樽病院 薬剤部、3) 済生会小樽病院 栄養管理室、
4) 済生会小樽病院 臨床検査室、5) 済生会小樽病院 リハビリ室、6) 済生会小樽病院 内科

1-2 糖尿病透析予防に対するチーム医療の取り組みについて

○板井 夕貴¹⁾、小林 美晴¹⁾、山内 布美子¹⁾、古木 アケミ¹⁾、星乃 明彦²⁾、松尾 靖人²⁾

1) 済生会熊本病院 看護部、2) 済生会熊本病院 糖尿病内科

1-3 トホグリフロジン 10mg (20mg 0.5錠)追加投与の有効性に関する検討

○梅澤 智史、迫 康博、徳島 礼実、有田 好之、関口 直孝

福岡県済生会飯塚嘉穂病院 内科

1-4 当院における SGLT2 阻害剤エンパグリフロジン (EMP) 少量投与の有効性の検討

○梅岡 二美¹⁾、宮岡 弘明¹⁾、村上 主樹²⁾、佐藤 真²⁾、東野 誠²⁾、白石 佳奈²⁾、
小泉 洋平²⁾、村上 英広²⁾、岡田 武志²⁾

1) 済生会松山病院 甲状腺糖尿病センター、2) 済生会松山病院 内科

1-5 無自覚低血糖がある1型糖尿病患者の学校との連携を行った1例

○渡辺 拓生¹⁾、森川 麻美¹⁾、下前 めぐみ¹⁾、金原 秀雄²⁾、山崎 大輔³⁾

1) 福井県済生会病院 看護部、2) 福井県済生会病院 代謝内科、3) 福井県済生会病院 小児科

1-6 2型糖尿病患者に発症した感染経路不明のレジオネラ肺炎の1例

○三嶋 麻揮¹⁾、利根 淳仁¹⁾、角南 良太²⁾、賀来 奈緒子¹⁾、高橋 北斗¹⁾、窪津 康祐¹⁾、
國方 友里亜¹⁾、妹尾 真弓¹⁾、下村 泰之¹⁾、勅使川原 早苗¹⁾、中塔 辰明¹⁾

1) 岡山済生会総合病院 糖尿病内科、2) 岡山済生会総合病院 呼吸器内科

1-7 心拍変動係数を指標とした自律神経機能と身体機能の関係性について

○須崎 裕一¹⁾、稲吉 直哉¹⁾、西田 裕紀¹⁾、永迫 久裕²⁾、岩屋 智加予²⁾

1) 福岡県済生会大牟田病院 リハビリテーション部、2) 福岡県済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科

1-8 SGLT2阻害薬内服症例の周術期管理体制の紹介と術後のケトン体の上昇について

○関 侑介¹⁾、齋藤 大祐¹⁾、齋藤 聡¹⁾、山下 裕美子¹⁾、長島 まゆみ²⁾、立石 彩子²⁾、
鈴木 吉乃²⁾、友常 健¹⁾

1) 済生会宇都宮病院 糖尿病・内分泌内科、2) 済生会宇都宮病院 看護部

1-9 膵癌患者の血糖コントロール不良がGEM+nab-PTX療法の治療効果に及ぼす影響

○守田 和憲¹⁾、徳永 晃己¹⁾、田上 治美¹⁾、松尾 靖人²⁾、星乃 明彦²⁾、松下 祐三³⁾、
川崎 麗苗³⁾、三井 士和³⁾、森北 辰馬³⁾、小田 尚伸³⁾

1) 済生会熊本病院 薬剤部、2) 済生会熊本病院 糖尿病内科、3) 済生会熊本病院 総合腫瘍科

1-10 6年間に当院へ糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)で入院した症例の解析

○池原 佳世子、楠田 修平、後藤 彩紀、秋山 まこ、詫摩 晃大、王城 人志、山下 馨、
笠原 文子、一城 貴政、比嘉 真理子

済生会横浜市東部病院 糖尿病内分泌内科

12:00～12:50 ランチョンセミナー1

座長：星乃 明彦(済生会熊本病院 糖尿病内科)

インクレチン関連薬を再考する ～GIP/GLP-1受容体作動薬への期待～

寺内 康夫 横浜市立大学大学院 医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学

共催：日本イーライリリー株式会社／田辺三菱製薬株式会社

13:15～13:25 次期世話人挨拶 一城 貴政(済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科)

2型糖尿病の病態と薬物治療

窪田 直人 熊本大学大学院 生命科学研究部 代謝内科学講座

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長：関口 直孝（福岡県済生会飯塚嘉穂病院）

新谷 光世（大阪府済生会中津病院 糖尿病内分泌内科）

チームで創る糖尿病診療の五輪書 ～誰一人取り残さない医療を目指して～

大牟田市の糖尿病重症化予防を目指した当院の取り組み
～内分泌・糖尿病センター開設3年の歩み～

岩屋 智加予

福岡県済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科、内分泌・糖尿病センター

一緒に悩んで、一緒に楽しむ勇気

宮永 幸実

済生会若草病院 薬剤部

看護療養相談室から発信する糖尿病診療支援
～誰一人取り残さない糖尿病診療をめざして、できることから取り組む～

兵頭 千恵

済生会松山病院 看護部

糖尿病外来患者に対する栄養食事指導の実際
～誰一人取り残さない医療を目指して～

松永 貴子

済生会熊本病院 臨床栄養室兼給食管理室

糖尿病足病変に対するフットケアチームの救済アプローチ
～理学療法士の視点より～

青野 達

済生会福岡総合病院 リハビリテーション部

座長：一城 貴政（済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科）
金原 秀雄（福井県済生会病院 代謝内科）

2-1 当院における低血糖救急搬入患者の背景変化に関する実態調査

○佐々 扶美¹⁾、星乃 明彦²⁾、松尾 靖人²⁾、田上 浩美¹⁾

1) 済生会熊本病院 薬剤部、2) 済生会熊本病院 糖尿病内科

2-2 重症低血糖を契機に判明した汎血球減少を伴う 視床下部性副腎皮質機能低下症の一例

○永迫 久裕、岩屋 智加予

福岡県済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科

2-3 アナモレリン塩酸塩処方後に高血糖をきたし栄養管理に難渋した症例報告

○榎本 一実¹⁾、松永 貴子²⁾、松尾 靖人³⁾

1) 済生会熊本病院 臨床栄養室兼がん総合支援室、2) 済生会熊本病院 臨床栄養室、

3) 済生会熊本病院 栄養部兼糖尿病内科

2-4 運動指導を行った糖尿病腎症腎不全期患者における身体機能 および腎機能の経時的変化

○神山 大地¹⁾、赤石 汐里¹⁾、友常 健²⁾

1) 済生会宇都宮病院 リハビリテーション技術科、2) 済生会宇都宮病院 糖尿病・内分泌内科

2-5 リブレの特性を活かした糖尿病運動指導のための一次調査 ～主にリブレ測定回数と運動習慣の有無に着目して～

○三浦 富美彦¹⁾、城田 祐輔¹⁾、舩岡 紗也香¹⁾、青木 有希子²⁾、権城 泉³⁾、早川 恵美子⁴⁾、
岡本 晃光⁵⁾、水越 常德⁶⁾

1) 済生会小樽病院 リハビリテーション室、2) 済生会小樽病院 薬剤室、3) 済生会小樽病院 栄養管理室、

4) 済生会小樽病院 看護部、5) 済生会小樽病院 臨床検査室、6) 済生会小樽病院 内科

2-6 アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬内服後の尿 C-ペプチド値が 著明な高値を示した2型糖尿病の1例

○比嘉 眞理子、託摩 晃大、後藤 彩紀、秋山 まこ、楠田 修平、王城 人志、山下 馨、
笠原 文子、池原 佳世子、一城 貴政

済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科

2-7 肺癌治療中に免疫関連有害事象の1型糖尿病を来した1例

○荒毛 祐吏美¹⁾、守田 和憲¹⁾、田上 治美¹⁾、松尾 靖人²⁾、星乃 明彦²⁾、保田 祐子³⁾、
一門 和哉³⁾

1) 済生会熊本病院 薬剤部、2) 済生会熊本病院 糖尿病内科、3) 済生会熊本病院 呼吸器内科

2-8 DPP4阻害薬を長期間服用後、 造影剤使用を契機に水疱性類天疱瘡を発症した1例

○青木 有希子¹⁾、上野 誠子¹⁾、鈴木 景就¹⁾、村川 麻里子¹⁾、早川 恵美子²⁾、三浦 富美彦³⁾、
城田 祐輔³⁾、舛岡 紗也香³⁾、権城 泉⁴⁾、岡本 晃光⁵⁾、水越 常德⁶⁾

1) 済生会小樽病院 薬剤室、2) 済生会小樽病院 看護部、3) 済生会小樽病院 リハビリ室、
4) 済生会小樽病院 栄養管理室、5) 済生会小樽病院 臨床検査室、6) 済生会小樽病院 内科

2-9 拘束性換気障害を合併した2型糖尿病患者に対して 呼吸機能改善に着目した運動指導が有効であった一例

○西田 裕紀¹⁾、須崎 裕一¹⁾、山本 基記¹⁾、永迫 久裕²⁾、岩屋 智加予²⁾

1) 福岡県済生会大牟田病院 リハビリテーション部、2) 福岡県済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科

2-10 糖尿病性足潰瘍により下腿切断に至った重度視力障害合併2型糖尿病の1症例 —リハビリ困難と思われた患者が意欲的にリハビリに取り組んだ要因を考察する—

○近藤 源¹⁾、兵頭 千恵²⁾、梅岡 二美³⁾、宮岡 弘明³⁾

1) 済生会松山病院 リハビリテーションセンター、2) 済生会松山病院 看護部、
3) 済生会松山病院 甲状腺・糖尿病センター

12:00～12:50 **ランチョンセミナー 2**

座長：宮岡 弘明（済生会松山病院）

CGMが切り拓く新しい糖尿病の治療戦略

弘世 貴久 東邦大学 医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野

共催：アボットジャパン合同会社

会 長 講 演

基 調 講 演

特 別 講 演

ランチョンセミナー 1

ランチョンセミナー 2

シンポジウム

一般口演

第30回全国済生会糖尿病セミナー
プログラム・抄録集

世 話 人：松尾 靖人

事 務 局：済生会熊本病院 医療支援部 医療秘書室
〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
TEL：096-351-8000（代表） 内線：8795

運営事務局：株式会社コンベンションサポート九州
〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-35
クロススクエア熊本九品寺7F
TEL：096-373-9188 FAX：096-373-9191
E-mail：sdms30@higo.co.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>